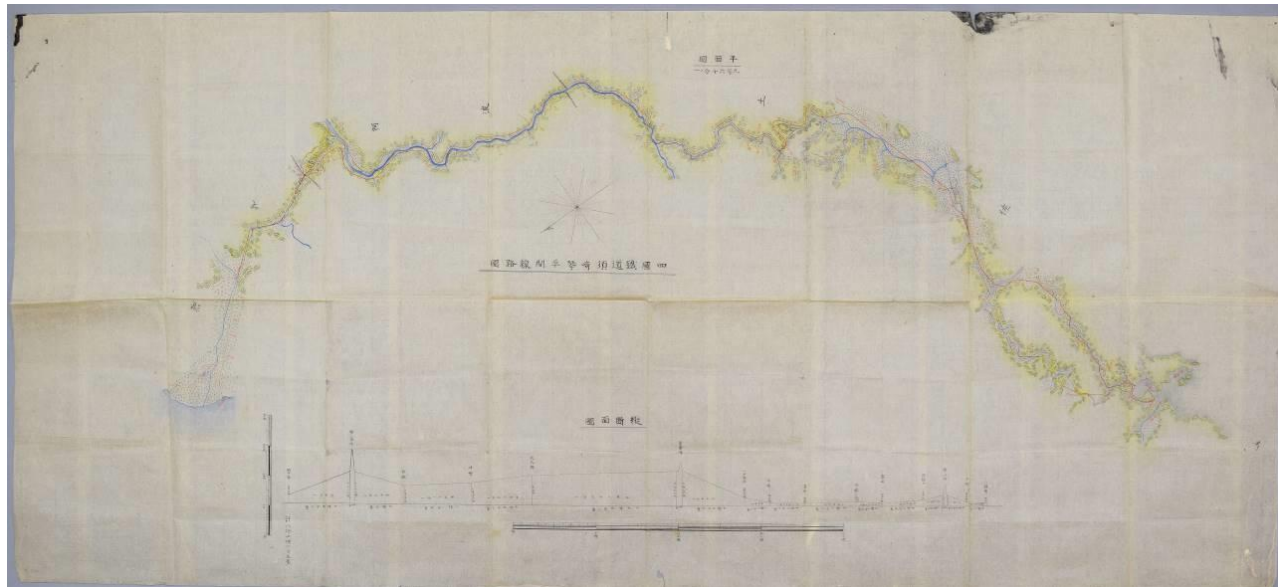


「四国鉄道須崎琴平間路線図」（香川県立文書館蔵文書 211）



【資料名】 四国鉄道須崎琴平間路線図

【年代】 明治二十七年ごろ（一八九四）

【解説】

別掲「四国線調査報告」の付属資料。

「四国線調査報告」の内容に従い、丸亀・多度津（画面左部）から猪ノ鼻峠を越え、高知経由須崎までの路線案を描く。

画面右部には高知・須崎間について、海岸線を進む路線と内陸部を進む路線の二つを併記している。路線確定に至るまでの大正、昭和の間を通じ両路線の沿線地域が鉄道開通に伴う経済効果を求めて争うこととなるが、明治期、技術的にも両路線が甲乙つけがたかった様子がうかがえる。

図の下部には路線の勾配図もあり、実際の工事に即したものとなっている。

猪ノ鼻峠越えなど、この調査結果が後の土讃線建設に大きな影響を与えた事がうかがえる資料である。